

1

NEWS

エゴマ鶏を使った新しい特産品を  
パウンドケーキ調理実習を開催

エゴマ鶏の卵を使ったパウンドケーキ調理実習は二月六日、旧富田小学校で行われました。

実習には、エゴマ鶏事業のアドバイザーを務めている昭和学院短期大学の福永淑子教授やエゴマを使った特産品開発に取り組んでいる特産さめがわ合同会社しゅんしゃんレディーのメンバーらが参加しました。



エゴマ鶏の卵を使った調理実習

調理は、福永教授のアドバイスを受けながら、エゴマ鶏の卵と小麦粉、バターなどで生地を作り、村内産の干し柿やカボチャ、小豆、エゴマなどを組み合わせ、生地に練り込み、六種類のパウンドケーキを作りました。今後、商品化に向けてさらに検討を重ね、完成した商品は、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」で販売される予定です。

2

NEWS

男女混成の部で西山勢が上位を制す  
第10回村親善インディアカ大会



熱戦を繰り広げる参加者

大会には、男女混成の部に十八チーム、四十歳以上の部に十一チーム、計二十九チームが出場。男女混成の部は四ブロック、四十歳以上の部では二ブロックに分かれて予選を行いました。各ブロック一位チームが決勝トーナメントに出場し、熱戦を繰り広げました。

村体育協会（水野博和会長）主催の「第10回鮫川村親善インディアカ大会」は二月一日、農業者トレーニングセンターで行われ、男女混成の部で「かよちゃん」チームが優勝を果たしました。

成績は次のとおりです。  
▼男女混成の部：①西山ほつと（西山）②西山2009（西山）③NIC（西山）④西山ほんぼこ（西山）  
▼四十歳以上の部：①かよちゃん（青生野）②ヒロちゃん（青生野）③東石ライオンズ（東石）④一生青春48（オープン）  
なお、二月二十二日に埴町で行われた郡大会に男女混成の部の四チームが出場し、各チームが健闘しました。

3

NEWS

ふるさと談義で親睦深める  
第23回東京鮫川会総会



たくさんの会員が出席した総会

第二十三回東京鮫川会の総会は二月二十五日、新宿住友ビル

（東京都）で開かれました。総会には、会員、村関係者ら約百人が出席。茨木勇会長のあいさつに続き、大樂村長ら来賓が祝辞を述べました。このあと議事に入り、平成二十一年度事業と決算、平成二十二年事業計画と予算が承認されました。また、総会終了後には、新年会も行われ、村内産の野菜や達者の味噌なども販売され、参加者はふるさと談義に花を咲かせながら、親睦を深めました。

4

NEWS

中野4チームが優勝  
第10回クロリティー大会



得点を競い合ったクロリティー大会

村老人クラブ連合会主催の第十回クロリティー大会は一月三十日、村公民館で開かれました。村内の老人クラブから三千チームが参加。競技は十ブロックの予選リーグ、決勝トーナメントと熱戦が繰り広げられました。参加者は、和気あいあいと競技を楽しみました。成績は次のとおりです。  
①中野4チーム②青生野1チーム③富田1チーム、中野6チーム、東石1チーム

5

NEWS

鮫山公園整備に汗を流す  
鮫川村中央林業研究会で鮫山公園整備作業



作業に取り組む参加者

村内の有志で結成される鮫川村中央林業研究会（青戸孝夫会

長）による鮫山公園整備は二月八日、「手・まめ・館」裏側付近（村道巡ヶ作線の法面）で行われまし

た。作業には、同会の会員八人が参加しました。チェーンソーや刈り払い機、ナタなどを使い、斜面にあった木などの伐採に汗を流しました。

6

NEWS

和紙すきと絵手紙を体験  
村公民館事業「和紙すきと絵手紙講座」



上…和紙すき体験/下…絵手紙講座

村公民館事業「和紙すきと絵手紙講座」は昨年十二月から一

月にかけて全四回、村公民館などで行われました。講座には、親子など五組が参加。和紙すきでは、伝統の鮫川和紙を伝える齋須寛一さん（新宿）、齋須寛一さん（新宿）を講師に

絵手紙講座には、鈴木米子さん（新宿）を講師に講座が開かれました。参加者は伝統の技を体験し、自分で書いた和紙に思い思いに絵手紙を書きあげました。